

昆虫の王様
カブトムシ!!

カブトムシ&スズムシ

森の音楽家
スズムシ!!

あんなコト!こんなコト?

カブトムシの呼吸の仕方!!

カブトムシは人とは違いおなかのあたりで呼吸をします。幼虫のあの赤い点々が気門と言われ呼吸するところと言われています。



カブトムシの色の違いは…?

カブトムシの色が赤い奴は強いとか寿命が長いなどの話は聞いたことがあると思いますが、実は特に関係ないです。カモフラージュの一環でたとえば暗いところは黒いカブトムシが見つかりにくく、明るいところは赤いカブトムシが見つかりにくくなるなどの擬態の一種ですね。



カブトムシの寿命って?

カブトムシは8,9月ごろ卵から幼虫が生まれてそこから5~6月までの10か月を幼虫でいます。そして2~3か月間を蛹で過ごして7月ごろ成虫になります。成虫の野生化での寿命は約1~2か月程度で、基本的には成虫が冬越しすることはありません。



カブトムシの大きさは…!!

カブトムシやクワガタなどは「幼虫の時にどれだけ大きくなるか」で大きさが決まります。成虫になると固い体になるので成長はできません。幼虫のうち栄養のある土をたくさん食べられれば大きくて強いカブトムシになることができます。



スズムシの飼育の歴史

平安時代から、貴族の間では籠に入れて鳴声を楽しむ対象とされ、親しまれていました。江戸時代に入ると虫売りの手で人工飼育が始まり盛んに販売されるようになりました。飼育は簡単で、キュウリやナスを主な餌とし、鯉節などの動物質の餌を与えるなど共食いも防げます。他にカボチャやサツマイモなども食べます。自然界においてはススキやクズの群生地が多く見かけ、草木の葉や小昆虫の死骸を食べることから雑食性だと推測できます。



スズムシはどこにいる?

成虫は夏に出現し、森林縁またはススキなどの暗い茂みの地表に生息します。自然の豊かな農村などでは、田畑の脇の草むらで大きな石やコンクリートのひっくり返すと、多数の個体が潜んでいる姿に出会う事もあります。基本的に夜行性であり、昼間は地表の物陰に隠れ、夜に下草の間で鳴き声を上げるが、曇りの日などは昼夜を問わず良く鳴きます。



スズムシの鳴き声は…?

鳴き声が細かく鈴を振るようだというのでスズムシと言うが、かつてはこれを松林を渡る風と聞いたらしい。逆にマツムシのチンチロリンを鈴の音と聞いていた様であります。



金山伝言板

第124号

発行 金山総合公園
編集 園長 三田芳夫
太田市長手町480

TEL 22-1448

http://gunma-

kodomonokuni.jp



夏休みの宿題にいかがですか? 夏休みこども木工教室

- 〈期間〉 7/1(金)~8/30(日) ※月・金、第1・3火は休館日
- 〈予約〉 予約制です 0276-22-1767
- 〈受付〉 9:30~10:00 までにご来館下さい
- 〈日時〉 団体利用のない開館日 1日講習
10:00~15:00 ※12:00~13:00はお昼休憩
- 〈対象〉 小学生以上(小学6年生までは要保護者)
- 〈製作物〉 下記①~⑧からどれか選択
- 〈定員〉 ①~③先着各20名様 ④~⑧先着各10名様
- 〈注意事項〉
 - ・予約制の1日講習となります
 - ・定員になり次第締切りとさせていただきます
 - ・都合により日程、内容を変更する場合がございます。ご了承下さい。

¥700	¥1300	¥2000	¥1000	¥1300	¥700	¥1000	各¥300

← ← ← ← ← ← ← ← ← ←

工房で工作体験してみよう♪

ふれあい工場の木工教室では、いろいろなものを作ることが出来ます。そのためには、各種の道具類を使って体験活動をする必要があります。

糸のこで木を切ることで、紙ヤスリで磨きをかけて、金づちでクギを打つことなどです。初めての体験でも、二度・三度の体験でも、多くのおみなさまが満足感にしたりながら作品を完成させています。体験終了後のアンケートにおいては、多くのおみなさまから良好なご意見をいただいております。

木工教室では、体験者の年齢に応じた指導やサポートを基本的な指針としています。今後も、体験者の気持ちに寄り添った活動ができるように進めていきますので、多くのおみなさまのご来館をお願い致します。

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6					1	2	3
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
31																				

■ 一日中遊べません。
■ 午後1時から上の池のみ遊べます。但し、噴水は出ません。
■ 営業期間外です。今季のじゃぶじゃぶ池は4/29~9/30までご利用いただけます。

じゃぶじゃぶ池清掃日カレンダー

マナーを守って遊んでね♪

- ・土足厳禁でお願い致します
- ・噴水口には登ったり座ったりしないで下さい
- ・岩の上には登らないで下さい
- ・走ったりすると危険ですのでご注意ください
- ・オムツをした幼児は池には入れません



金山歴史山歩〜金山の植物〜



6月18日に行われた金山歴史山歩は「金山の植物」というテーマで行われました。参加者は32名、スタッフ2名の合計34名の参加がありました。

9時にエントランス広場をスタートして公園内を歩きながら、オカトラノオ・ヤマホトトギス・ヤマユリ・ドクダミ・ヤブレガサ・アジサイ・ガクアジサイ・ミヤギノハギ等の植物を観察しながら、ドクダミ・ミソソバ・クサギ・クスのツル等の食べられる植物の採取もしました。

風食の前に乗務員控室に戻って、採取した植物の天麩羅を揚げて参加された皆様に試食していただきました。好評だったのが、クスのツルの天麩羅で、皆さん「ほくほくして美味しい」との事でした。

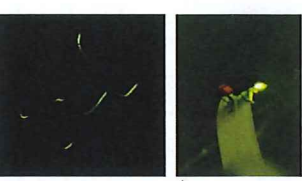
午後は、場所をふれあい工房に移して、「野生キノコの観察と識別方法」という題での、勉強会を行いました。結論としては、毒キノコを見極めるためには、キノコの知識を深めることが必要です。最初は名前を確実に覚える事から始めるという事と、不安なものや疑わしいキノコは買わない、取らない、食べない事だそうです。



天然ホタルに約750人来園!

6月14日(火)〜19日(日)の6日間、ホタル観察会を開催いたしました。梅雨時期ということもあり、あいにくの天気で中止となった日もありました。しかし、期間中50人以上の方に参加いただき、この時期だけのホタルの輝きをたくさん皆様に見ていただくことができました。今年度は例年よりホタルの発生が早く、当初公開した観察会の開催予定日より3日早めの開催となりました。そのおかげでちょうどホタルの発生ピークで開催できたこともあり、ここ数年の中でも特に多くのホタルが観察されたとなりました。

今年度は例年よりホタルの発生が早く、当初公開した観察会の開催予定日より3日早めの開催となりました。そのおかげでちょうどホタルの発生ピークで開催できたこともあり、ここ数年の中でも特に多くのホタルが観察されたとなりました。



飛んできて光ったり、非常に近くで観察をすることができました。ホタルが飛び交う様子に参加者からは歓声が上がり、観察会は大盛況となりました。

こどもの国今年のキャンドルナイトは8/20(土)

本来、キャンドルナイトとは、夏至と冬至の日に行なうイベントでした。それはなぜか?夏至は特定の国の記念日ではない、世界共通の日であるからです。現在も各地で夏至や冬至に合わせてイベントが行われています。

以前はこどもの国でも同じようにイベントを行っていましたが、現在は多くの子供達にも楽しんで貰えるようにと、夏休みに合わせて8月の中旬〜下旬に行うイベントとして変化してきました。夏休みの最後の思い出として、ゆるゆるキャンドルの灯を見ながらスローなひと時を過ごしてみませんか?



ぐんまこどもの国 里山コラム Vol.4

ナイトハイクの事前学習 記事担当:羽賀



皆様こんにちは、7月1日号ということであれよあれよと夏になりました。今年は6月20日にセミの仲間である「ニイニイゼミ」が鳴いておりました。例年7月に入ってから「一番に鳴くセミだなあ」と思っていたのが、なんと6月中旬に鳴き始めるとは・・・地球温暖化の影響なのかはわかりませんが気候は変化しているなど感じる毎日で。

さて今回のテーマは《ナイトハイクの事前学習》「これを読んで7月のナイトハイクに来るともう少し楽しめるかも!？」と言えるような文章を目指して頑張ります・・・

ナイトハイクということで夜に自然観察をしますが「なぜあえて夜に歩くのか?」単純に暗い時間に公園を歩くのはワクワクするというのもありますが、昼間の生き物と夜の生き物は見られる姿や生き物が変化するので、これを観察しに行きます。

これは「棲み分け」という生き物たちの生き残る知恵の結果、たとえ同じ場所でも昼と夜とでは活動している生き物が変わるというような変化が起こるのです。有名なのは樹液に集まる昆虫たちですね。昼間にはスズメバチやオオムラサキなどのチョウの仲間が集まるのに対して、夜はカブトムシ・クワガタなどの昆虫が集まります。たとえば、カブトムシが昼間に出てきたとすると「素早く、強力な大あごや針を持つスズメバチ」と戦って樹液を勝ち取らなければなりません。夜になるとスズメバチが少なくなるので樹液を勝ち取る可能性が高まります。

昆虫の他に、実は植物にも時間帯による棲み分けがあり、花を咲かせる時間帯を変えて自分の花粉を優先的にハチやチョウに運んでもらおうとしているのです。なかでも、夜咲くという大胆な行動に出ている植物もあります。それは「カラスウリ」です。非常に幻想的な花で、夜咲くことでハチやチョウではなく「ガ」に受粉してもらおうのです。夜に咲いている花は非常に少ないので独占して受粉を昆虫に手伝ってもらえるという大きなメリットがあります。人間社会では隙間産業と言われるような活動に近いかもしれませんね。

ナイトハイクではこんな様々な夜の生き物たちの活動に出会える貴重な機会となると思いますので、ぜひ参加をお待ちしております。



7月イベント情報

- 3日(日)〜7日(木)
 - ・七夕飾りエントランス展示
- 2日(土)
 - ・手作りスタンプ
 - ・森の小さな動物たち
- 3日(日)
 - ・夢のマジックショー
- 8日(金)
 - ・花のゆりかごPJ
- 9日(土)
 - ・紙ヒコーキ教室
- 10日(日)
 - ・稲作体験
- 13日・27日(水)
 - ・自然観察会
- 16日(土)
 - ・ふれあい工房実演講習会
- 17日(日)
 - ・草木染
- 7月中旬〜8月中旬(※予定)
 - ・カブトムシ&スズメバチ配布
- 23日(土)
 - ・自然ふれあいクラブ主催「ナイトハイク」
 - ・水で作る水鉄砲教室
- 24日(日)
 - ・自然と遊ぼう
 - ・森の小さな動物たち
 - ・ナイトハイク
- 29日(金)〜31日(日)
 - ・かくれにこっとちゃんを探せ①



編集後記 担当:野村

7月になれば梅雨明けをした県も多くなり、夏休みに向けてわくわく・ソワソワする子供達が増えてくる季節です。同時にちよつとした不注意が多くなる頃かもしれません。遊具で遊ぶ際は、保護者の皆さまもより注意をして見ていてあげて下さいね。